



環境省
エコアクション21
認証番号0000091



未来の地球のため
私たちができること



環境経営 レポート 2022



対象期間

2021年1月1日～2021年12月31日

学校法人 郡山開成学園



CONTENTS

I. 郡山開成学園環境方針

環境理念、環境方針	1
-----------	---

II. 郡山開成学園の概要

II-1 法人名及び組織	2
II-2 所在地	2
II-3 環境管理責任者及び事務局	2
II-4 学園規模	2
II-5 大学、短大・附属高校・附属幼稚園概要	3

III. 郡山開成学園における環境マネジメント

III-1 環境パフォーマンスとその関連要素	4
III-2 環境への取組分野	4
III-3 環境への負荷とその関連要素	4
III-4 環境マネジメントシステム	5

IV. 環境目標及び環境活動計画

IV-1 2021 年～ 2023 年中長期環境目標	6
IV-2 2021 年環境活動計画	7

V. 環境活動結果

V-1 環境目標達成状況及び環境活動計画実施状況	
(1) 環境負荷の対前年詳細比較	8
(2) 環境目標の達成状況評価	9
(3) 取組結果の評価	9
(4) 代表者による評価と見直し	9
V-2 トピック	10
V-3 各部門の取組み	10～16
V-4 緊急事態対応	16
V-5 郡山女子大学・同短期大学部における地域連携活動	17～18

VI. 次年度の取り組み

VII. 環境関連法規等一覧及びその遵守状況確認結果

VIII. 環境活動結果に関する内部監査及び評価

(1) 内部監査	20
(2) 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果	21
(3) 令和3年度（2021 年）受託事業などの一覧	21

I. 郡山開成学園環境方針

学校法人郡山開成学園 理事会承認
2002年 9月12日制定
2017年 7月28日最終改定

環境理念

学校法人 郡山開成学園は、教育研究をはじめとするあらゆる活動を通じ、地球環境との調和・共存と持続的に発展可能な循環型社会の構築に寄与するため、全学挙げて環境保全活動に積極的に取り組む。

環境方針

1. エコマインドを持った学生・生徒の育成並びに関連教育研究の推進



環境活動に積極的に取り組むエコマインドを持った学生・生徒の育成が急務であることから、人類の福祉及び地球環境保全に貢献できる人材を育成し、また、これらに関わる教育研究活動を行う。

環境マインドを持った学生、生徒を育てます。

環境意識向上

2021年度目標

「社会の中で率先して環境問題に取り組む人づくり」を目指す。
各部門において、環境マインドを高める為の取組を推進していく。

2. 教育研究活動における環境負荷の削減



教育研究活動にともなう環境負荷を低減する目標に向かって、全学を挙げて、省エネルギー、省資源、廃棄物の抑制と再資源化などに積極的に取り組む。

CO₂ 排出量を削減し地球温暖化にブレーキをかけます。

CO₂ 排出量 1.0% 以上削減

2021年度目標

年間 11t の CO₂ 排出量削減を達成します。

ゴミを減らすのではなくゴミを出しません。

ゴミ排出量 1.0% 以上削減

2021年度目標

年間 1.0t の一般廃棄物削減を達成します。

水や紙を大切に使う心を育てます。

水使用量 1.0% 以上削減

2021年度目標

年間プール一杯分 (234ml) の水使用量削減を達成します。

紙使用量 1.0% 以上削減

年間コピー用紙 111kg 相当の紙使用量削減を達成します。

3. 法規制の遵守



環境関連の法規制を遵守するとともに、環境汚染の予防を図り、自然環境の保全、再生に協力する。

4. 環境関連情報の公開とコミュニケーションの推進

環境理念、環境方針、環境目標、環境活動計画及びその実績等の環境関連文書やホームページ等を通じて、学内の学生、生徒、教職員や一般社会へ積極的に公開する。

5. 地域貢献



環境分野に関するボランティア活動(本学主催のどんぐりプロジェクト及び、郡山市主催のごみゼロキャンペーンへの参加、空間放射線量や食品中に含まれる放射性物質の測定、包括連携協定を締結した市町村等との連携活動、並びに学園施設の一般開放等)を通じ、地域に貢献する。

地域貢献

地域から 愛される学園へ

2021年度目標

環境分野に関するボランティアや包括連携協定を締結した市町村等との連携活動を通じ、地域へ貢献する

Ⅱ. 郡山開成学園の概要

Ⅱ－１ 法人名及び組織

法人名：学校法人 郡山開成学園

代表者：理事長 関口 修

■ 組織

郡山女子大学 : 学長 関口 修
郡山女子大学短期大学部 : 学長 関口 修
郡山女子大学附属高等学校 : 校長 関口 修
郡山女子大学附属幼稚園 : 園長 賀門 康博

Ⅱ－２ 所在地

〒963-8503 福島県郡山市開成3丁目25番2号

Ⅱ－３ 環境管理責任者及び事務局

環境管理責任者 / 郡山開成学園 法人事務局 管財部
部 長 緑川 洋一（環境委員会委員長）
TEL：024-933-1955
FAX：024-933-1955
kanzai@koriyama-kgc.ac.jp

環境委員会事務局 / 郡山開成学園 法人事務局 管財部
課長補佐 安斎 文明（環境委員会事務局）
TEL：024-933-1955
FAX：024-933-1955
kanzai@koriyama-kgc.ac.jp

Ⅱ－４ 学園規模

学 生 数（大 学・短 大）	902 人
生 徒 数（附 属 高 校）	426 人
園 児 数（附 属 幼 稚 園）	160 人
教 職 員 数	188 人
敷 地 面 積	190,569㎡ (57,647 坪)
延 べ 床 面 積	50,835㎡ (15,377 坪)

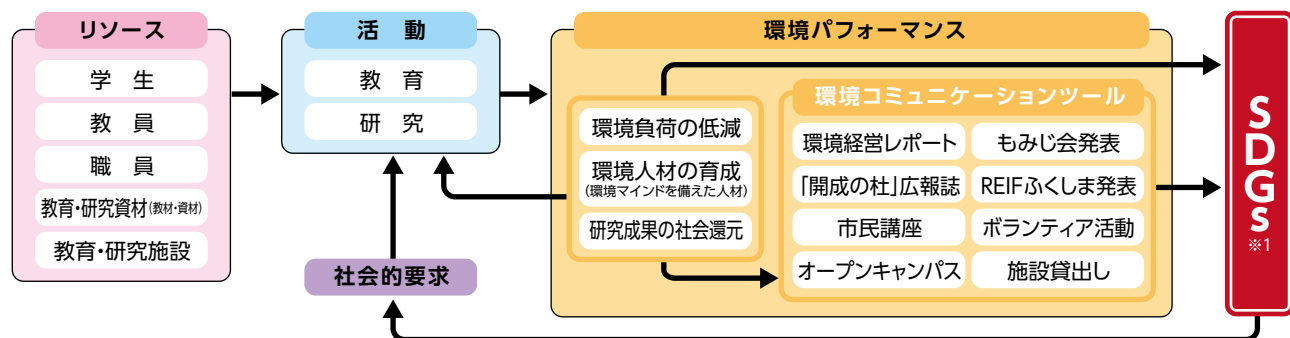
(令和4年5月1日現在)

Ⅱ－５ 大学、短大・附属高校・附属幼稚園概要

区分	学科・専攻等		取得できる免許・資格
大学 大学院	人間生活学研究科 新しい時代には、新しい学問が要求されます。 「人間守護」の理念を中心に、人間生活について総合的かつ専門的に学びます。		●中学校及び高等学校専修免許状（家庭）
大学 家政学部	生活科学学科 ■社会福祉専攻 社会福祉と介護について専門的かつ融合的に学ぶことにより、地域における福祉分野の課題解決に取り組み、地域の活性化に寄与する福祉の専門的人材を育成します。		●社会福祉士（受験資格） ●介護福祉士（受験資格） ●高等学校教諭一種免許状（家庭） ●中学校教諭一種免許状（家庭） ●特別支援学校教諭一種免許状
	■建築デザイン専攻 少人数制を活かして体験や体感を重視した実践的な教育と一人ひとりの個性に合わせた教育を展開し、地域社会で活躍する女性建築士を育成します。		●一級及び二級建築士（受験資格） ●福祉住環境コーディネーター ●商業施設士 ●高等学校教諭一種免許状（工業・家庭） ●中学校教諭一種免許状（家庭） ●特別支援学校教諭一種免許状
	食物栄養学科 食品の安全性と健康維持をはかる管理栄養士を養成。 社会や食生活の多様化・国際化に対応できる総合的な指導者を目指します。		●管理栄養士（国家試験受験資格） ●栄養士免許 ●栄養教諭一種免許状 ●食品衛生管理者と食品衛生監視員（任用資格）
短期大学部	健康栄養学科 健康で豊かな食生活をすすめる「栄養士」と、食品業界にかかわる「フードスペシャリスト」を養成。人々の健康をサポートする食と栄養の知識と技術を身につけます。		●栄養士免許 ●管理栄養士国家試験受験資格（実務経験３年） ●フードスペシャリスト受験資格 ●専門フードスペシャリスト受験資格
	幼児教育学科 ■幼児教育コース 幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の両方を取得することができます。多彩なフィールドワークを通して実践力を養い、子どもに寄り添える保育者を目指します。		●幼稚園教諭二種免許状 ●保育士資格
	■チャイルド・ミュージックコース 音楽に関する専門的な知識や技術を学び、より豊かな音楽表現力を養い音楽の美しさや楽しさを伝えることができる保育者を目指します。		●幼稚園教諭二種免許状 または ●保育士資格
	地域創成学科 地域連携教育を中心とした多様な学びにより想像力や表現力、コミュニケーション能力を伸ばし、地域の発展に役立つ力を身につけます。		●文化・歴史系：司書、学芸員補（任用資格） ●アート＆デザイン系：色彩士検定、Illustrator、Photoshop、Webクリエイター ●ビジネス・情報系：情報処理士、ITパスポート、MOS検定、日商PC、ICTプロフィシエンス検定、社会福祉主事（任用資格）
	専攻科 文化学専攻 人間の生きた証しである歴史の知識を体系化、深化させるとともに豊かな人間性を培い、総合的な判断力を養います。		●学士（文学）（大学改革支援・学位授与機構） ●学芸員（任用資格）
	専攻科 幼児教育学専攻 幼児教育・保育に関する高度な専門知識を身につけ、保育現場をリードしていく役割を担う人材を養成します。		●学士（教育学）（大学改革支援・学位授与機構） ●幼稚園教諭一種免許状
附属高等学校	普通科 個々の特性に合わせて、全教科にわたって幅広く学習します。１年次は、共通カリキュラムで学習し、基礎学力の充実を図ります。２年次からは、自分の進路や適性に合わせて、Ⅰ型（文系）、Ⅱ型（理系）に分かれて学習します。		
	音楽科 一般教科目を精選し、専門課程を強化しながら、各専攻（ピアノ、弦楽器、管楽器、声楽）に分けて、音楽の才能教育を行う県内唯一の学科です。		
	美術科 絵画、工芸、デザイン等の専門知識を深め、美に対する感覚と技術の向上を目指す県内唯一の学科です。		
	食物科 栄養、食品、食品衛生等の専門知識や高度な調理技術、技能を身につけ、食文化の継承者として地域社会に貢献する調理師を育てます。		●調理師免許
附属幼稚園	年長組 （５歳児） 年中組 （４歳児） 年少組 （３歳児） ２～満３歳児	やなぎ組 まつ組 さくら組 つつじ組 たんぽぽ組 すみれ組 つくし組	●お子さんをよりのばすために、一人ひとりを尊重して、それぞれの発達、個性に合わせて保育します。 ●よい成長のために大学の専門の先生と連携を取りながら保育を進め、また各教室（おと・うごき・ことば教室、英語教室、体育教室）や子育て相談（発達相談）を行います。 ●幼稚園と家庭が一体となってお子さんの成長を助けるため「父母の講座」などを行います。

Ⅲ. 郡山開成学園における環境マネジメント

Ⅲ-1 環境パフォーマンスとその関連要素



※1 SDGs「持続可能な開発のための2030アジェンダ」



Ⅲ-2 環境への取組分野

大項目	中項目
1. 事業活動へのインプットに関する項目	1) 省エネルギー 2) 省資源 3) 水の効率的利用及び日常的な節水 4) 化学物質使用量の抑制及び管理
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目	1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止 2) 廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理 3) 排水処理 4) その他生活環境に係る保全の取組等
3. 製品及びサービスに関する項目	1) グリーン購入 2) サービスにおける環境配慮
4. その他	1) 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組 2) 環境コミュニケーション及び地域貢献 3) 施主・事業主における建築物の増改築、解体に当たりの環境配慮

Ⅲ-3 環境への負荷とその関連要素

環境への負荷		もととなる活動・設備	
二酸化炭素排出	購 入 電 力	空調、照明、〇A機器、教育研究機器	
	化石燃料	灯油	暖房（体育館）
		A 重油	ピークカット発電
		都市ガス	空調、厨房
		LP ガス	空調、風呂
		ガソリン	学園車両等
		軽油	園児送迎車両等
廃 棄 物 排 出	一 般 廃 棄 物	白上質紙	教育、研究
		新聞紙	図書館等
		段ボール	納入品包装
		その他の紙	シュレッダー、雑誌
		缶	自動販売機
		ペットボトル	自動販売機
		生ゴミ	学生食堂、調理実習、寮給食
	産業廃棄物	汚泥	グリストラップ
		金属くず	廃自転車
		廃食用油	調理実習
	特別産廃	廃油	実験実習
		廃酸、廃アルカリ	実験実習
	水使用		トイレ、手洗い、飲料
化学物質		実験、実習	
物質使用（コピー用紙）		教育研究	

Ⅲ－４ 環境マネジメントシステム

■ エコアクション 21 認証・登録



■ エコアクション 21 とは

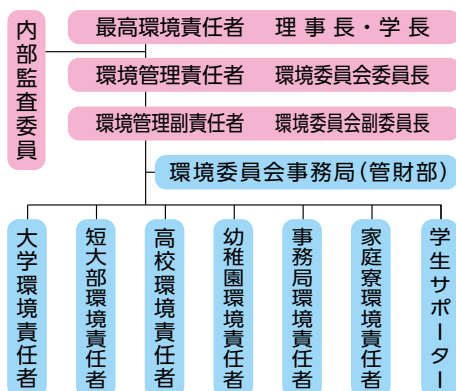
エコアクション 21 認証・登録制度は、広範な中小企業、学校、公共機関などに対して、「環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、報告する」ための方法として、環境省が策定したエコアクション 21 ガイドラインに基づく、事業者のための認証・登録制度である。

本学園は 2004 年 12 月 24 日教育機関では全国初となるエコアクション 21 認証・登録を受け 2021 年 12 月 8 日に 10 回目の中間審査を完了した。



全組織・全活動

■ 実施体制



■ 認証・登録証



■ 役割

最高環境責任者 (理事長・学長)	- 環境方針を定め、教職員に周知する。 - 環境方針を毎年 1 月に見直し、必要があれば改訂する。 - EA21 を効率的に実施するために環境委員会、環境委員長、副委員長、及び環境委員の任命を行い実施体制を構築し、役割と責任を定め、全教職員に周知する。 - 毎年 3 月に実施体制を見直し、必要に応じて変更を行う。 - 代表者は毎年 1 月に前年度の EA21 の取組状況を評価し、全体的な見直しを行い、修正が必要な場合には環境委員会委員長に指示を行う。(年 1 回)
内部監査委員	- 毎年 11 月に環境経営システムが EA21 ガイドライン要求事項に合致しているか検証する。 - その環境経営システムに有効性があるか、また、環境経営システムに定められている活動内容が環境方針、環境目標の達成に適切なものとなっているか検証する。
環境委員会 (委員長、副委員長、委員)	- 環境方針、環境への負荷及び環境への取組状況のチェック結果を基に環境目標を策定し、達成のための活動を行う。 - 毎年 1 月に前年度の達成状況を把握・評価し、必要により見直しを行う。 - 毎年 1 月に環境目標を達成させるための単年度ごとの環境活動計画を作成し、実行する。 3 ヶ月ごとに実施状況と実績を把握し、評価する。 - 実施状況に問題がある場合は是正処置を行い、次年度の計画策定に反映させる。
環境委員会事務局 (管財部)	- 毎年 1 月に前年度の事業活動に伴う環境負荷を調査し、「環境への負荷の自己チェック表」を完成させ、見直しをする。 - 毎年 1 月にチェック表による法令等の遵守状況を確認する。 - EA21 を適切に実行するために EA21 の意識と概要の教育及び、必要な場合は訓練を実施する。 - 毎年環境経営レポートを作成し、理事長、学長の確認を得て公表する。 - EA21 の実施に必要な文章を作成し、保管する。 - EA21 の取組に係る記録等を作成する。 - 作成された記録を集め、整理し、保管する。
学生サポーター (ナチュラライフスタイル部:以下NLS部) (郡山女子大学エコレンジャー)	- NLS 部員は環境委員会サポーターとして環境活動に協力する。 - 郡山女子大学エコレンジャーは eco 検定受験対策講座のサポーターとして環境委員会に協力する。

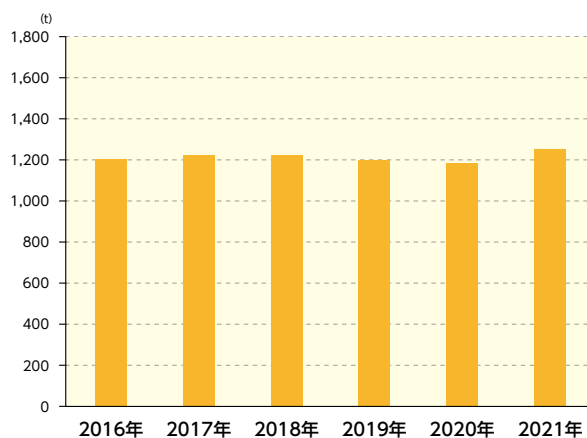
Ⅳ. 環境目標及び環境活動計画

Ⅳ－１ 2021 年～ 2023 年中長期環境目標

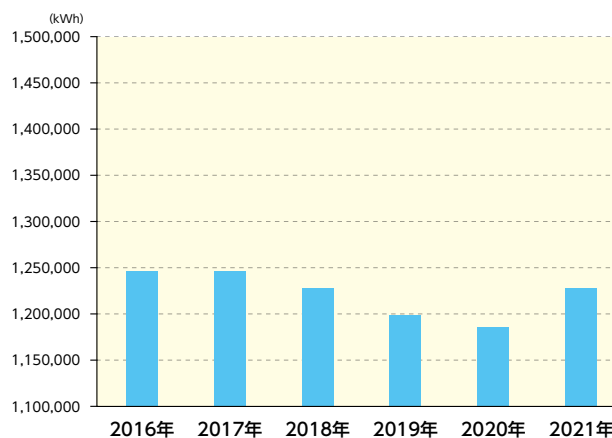
本学園は、以下7つの主項目に対し、目標値を掲げて環境活動に取り組んでいる。

項 目		単位又は区分	基準年実績	2021 年目標値	2022 年目標値	2023 年目標値	
			2020 年 1 月～ 12 月	2021 年 1 月～ 12 月	2022 年 1 月～ 12 月	2023 年 1 月～ 12 月	
エコマインドを持った 学生、生徒の育成		森林自己学習 活動参加人数	30 名	33 名	36 名	39 名	
		福島ふれあいの森 活動参加人数	20 名	22 名	24 名	26 名	
		学生、生徒の環 境関連サークル 活動支援	NLS 部・整備部 ガーデニング同好会 30 名	NLS 部・整備部 ガーデニング同好会 25 名	NLS 部・整備部 ガーデニング同好会 27 名	NLS 部・整備部 ガーデニング同好会 30 名	
二 酸 化 炭 素 排 出 量 の 削 減	電力使用量		kWh	1,151,021	1,139,510 (-1.0%)	1,128,115 (-2.0%)	1,116,834 (-3.0%)
	化 石 燃 料 使 用 量	都市ガス	m ³	44,124	43,682 (-1.0%)	43,245 (-2.0%)	42,813 (-3.0%)
		LP ガス	m ³	91,955	91,035 (-1.0%)	90,125 (-2.0%)	89,223 (-3.0%)
	CO ₂ 排出量		Kg-CO ₂	1,178,969	1,167,179 (-1.0%)	1,155,507 (-2.0%)	1,143,952 (-3.0%)
水使用量		m ³	23,458	23,223 (-1.0%)	22,991 (-2.0%)	22,761 (-3.0%)	
紙使用量		kg	11,192	11,080 (-1.0%)	10,969 (-2.0%)	10,859 (-3.0%)	
一般廃棄物排出量 (可燃ごみ)		kg	107,570	106,494 (-1.0%)	105,429 (-2.0%)	104,375 (-3.0%)	
化学物質の適正管理		—	化学物質の 適正管理	年 1 回の保管状況 調査により適正管理	年 1 回の保管状況 調査により適正管理	年 1 回の保管状況 調査により適正管理	
グリーン調達の推進		取扱消耗品 (280 品目) のグリーン 適合品	270 品目 (96.4%)	271 品目 (96.8%)	272 品目 (97.1%)	273 品目 (97.5%)	

(電気事業者名：NTT ファシリティーズ、調整後排出係数 0.426kg-co₂/kWh)



二酸化炭素排出合計



電力消費

Ⅳ－２ 2021 年環境活動計画

方針	目 標	目標達成手段	責任部門 実施部門	スケジュール											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
エコマイン 学生、 生徒の 育成	各部門において、環境マインドを高めるための取組を推進していく 《重点目標》 1. 森林自己学習活動の参加人数 2. 福島ふれあいの森活動の参加人数 3. NLS 部／ガーデニング同好会／整備部の確保	各環境委員による積極的なリーダーシップのもと実施	環境委員長 ----- 各環境委員				開始					開始			
排出 二酸化 炭素 削減	電力の削減 電力量－ 11,510kWh 2020 年度基準年比 削減率－ 1.0% 都市ガス、LP ガスの削減 都市ガス－ 441m ³ LP ガス－ 919m ³ 2020 年度基準年比 削減率－ 1.0%	・節電対策 ・BEMS による見える化 (本部キャンパス) ・不要照明の消灯 ・待機電力の削減 ・クールビズ運動 (冷房 27℃) ・ウォームビズ運動 (暖房 21℃)	環境委員会 事務局 ----- 管財部	説明 導入 運用 実施 実施 策定											
排出 廃棄 削減	一般廃棄物の削減 一般廃棄物量－ 1,075kg 2020 年度基準年比 削減率－ 1.0%	・一般廃棄物削減目標説明 ・学内 LAN の有効利用 (文書の電子化 E-mail) ・裏白使用、両面コピー、印刷の徹底 ・分別の徹底による再資源化量増加	環境委員会 事務局 ----- 管財部	説明 実施 実施 実施											
節 水	水の削減 水使用量－ 234m ³ 2020 年度基準年比 削減率－ 1.0%	・水削減目標説明 ・節水トイレの増設 ・無駄水削減の徹底 ・漏水の早期発見	環境委員会 事務局 ----- 管財部	説明 実施 実施 実施											
紙 削減 使用 量	紙の削減 紙使用量－ 111kg 2020 年度基準年比 削減率－ 1.0%	・学内 LAN の有効利用 (文書の電子化 E-mail) ・裏白使用、両面コピー、印刷の徹底	環境委員会 事務局 ----- 管財部	説明 実施 実施											
グ リ ン 購 入	消耗品 271 品目をグリーン購入法適合品に変更する	・消耗品のグリーン購入 ・家電機器、OA 機器等はエネルギー効率の高い機器を購入	管財部					○							
化 学 理 薬 品	PRTR 対象物質並びに毒物、劇物の保管、管理を適正に行う	・年 1 回 PRTR 法対象物並びに毒、劇物の保管、管理状況調査を行う	環境委員会 管財部							○					
年 間 活 動	○ 環境教育 ○ 緊急事態対応訓練 ○ 環境関連法規等の遵守評価 ○ 代表者による評価と見直し ○ 環境経営レポート	環境目標、活動計画の周知 安全防災訓練 法令遵守 第三者評価 作成と地域事務局への提出	環境委員会 事務局 ----- 防災管理 委員会	○											○

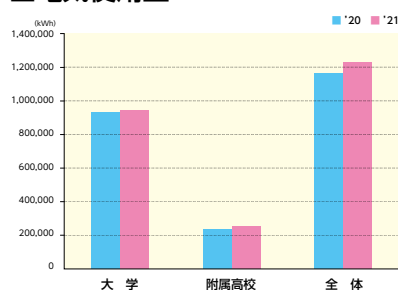
- ・環境管理責任者は 3 ヶ月ごとに確認し、取り組みに問題がある場合には指示を行う。
- ・代表者は、環境管理責任者の報告を受け必要に応じて指示を行う。

V. 環境活動結果

V-1 環境目標達成状況及び環境活動計画実施状況

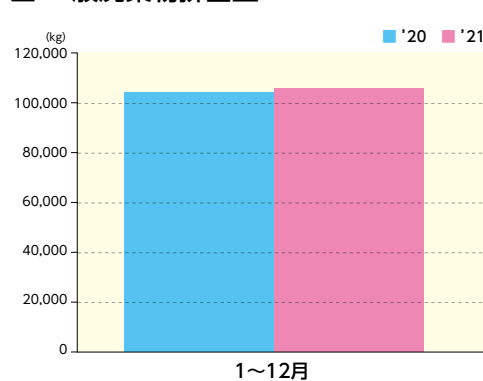
(1) 環境負荷の対前年詳細比較

■電気使用量



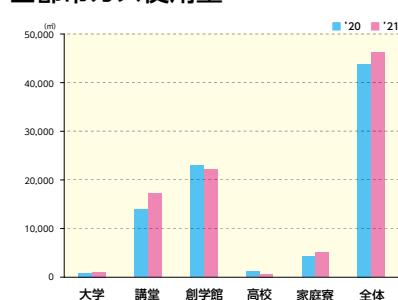
評価 2020年3月～5月にコロナによる休校から一転対面授業の復活により電気使用量は、対前年度比75.696kWh(+6.5%)増加

■一般廃棄物排出量



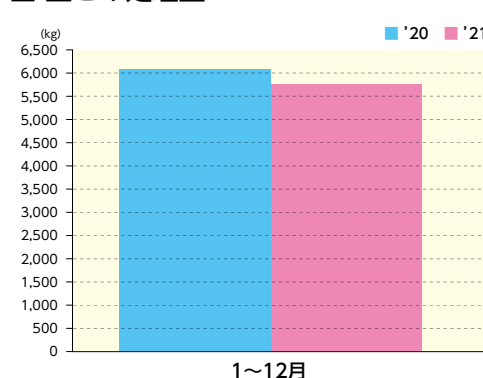
評価 学生数増に伴い一般廃棄物量の対前年度比1,000kg(+0.93%)の増加。

■都市ガス使用量



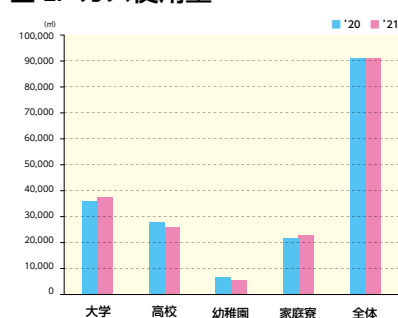
評価 2020年のコロナによる活動自粛から一転、福島県沖地震による市民文化センター使用不可に伴う本学講堂貸出しが重なり、LNG使用量は対前年度比8,347m³(18.9%)増加。

■生ごみ処理量



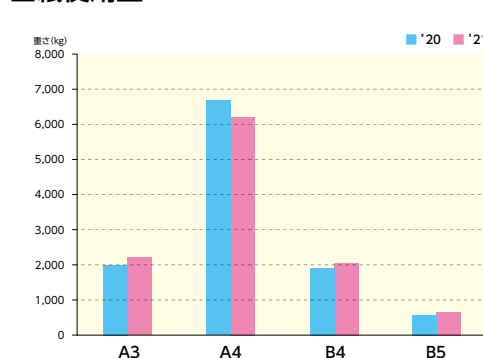
評価 学生食堂フェリーチェ及び寮食べ残しの減少により、生ごみ処理量の対前年度比-357kg(-5.87%)の減少。

■LP ガス使用量



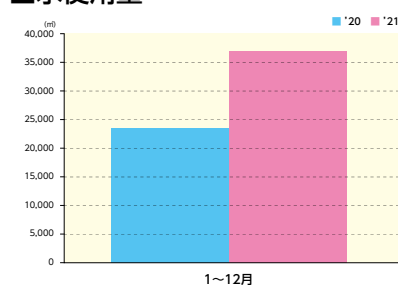
評価 大学・家庭寮は増加したが、高校・幼稚園は減ったため、全体的には126m³(-0.13%)微減。

■紙使用量



評価 A4の使用量が減り、紙使用量は対前年度比77kg(-0.68%)の微減。

■水使用量



評価 家政学館及び83年館の間で給水管が漏水し、水使用量は13,205m³(+56.2%)の大幅増。

(2) 環境目標の達成状況評価

2021 年における環境目標の達成状況は、下表のとおり。エコマインドを持った学生、生徒の育成については、各部署の環境委員による積極的なリーダーシップのもと各部門において環境マインドを高めるための取り組みを推進した。環境負荷の削減に係る環境目標については、LP ガス使用量・紙使用量のみ環境目標を達成したが、一般廃棄物排出量は対前年比の微増であった。又、化学物質の適正管理、グリーン調達の推進は環境目標を達成した。

表：環境目標及びその達成状況（期間 2021 年 1 月～12 月）

項 目		単位又は区分	基準年実績	2021 年目標	2021 年実績	達成状況
			2020 年 1 月～12 月	2021 年 1 月～12 月	2021 年 1 月～12 月	達 成 ○ 未達成 × 中 止 -
エコマインドを持った 学生、生徒の育成		森林自己学習 活動参加者	30 名	33 名	36 名	○
		福島ふれあいの森 活動参加者	20 名	22 名	24 名	○
		学生、生徒の環境関連 サークル活動支援	NLS 部員数 30 名	30 名	20 名	×
排 出 量 の削減	電力使用量	kWh	1,151,021	1,139,510 (－1.0%)	1,226,717 (+6.5%)	×
	使用燃料 都市ガス	m ³	44,124	43,682 (－1.0%)	52,471 (+18.9%)	×
		LP ガス	m ³	91,955	91,035 (－1.0%)	91,829 (-0.13%)
	CO ₂ 排出量	Kg-CO ₂	1,178,969	1,167,179 (－1.0%)	1,256,931 (+6.6%)	×
水使用量		m ³	23,458	23,223 (－1.0%)	36,663 (+56.2%)	×
紙使用量		kg	11,192	11,080 (－1.0%)	11,115 (-0.68%)	○
一般廃棄物排出量 (可燃ごみ)		kg	107,570	106,464 (－1.0%)	108,520 (+0.95%)	×
化学物質の適正管理		－	化学物質の 適正管理	年 1 回の化学物質の保管 状況を適正に調査し、 厳格に管理を行った	年 1 回の化学物質の保管 状況を適正に調査し、 厳格に管理を行った	○
グリーン調達の推進		取扱消耗品 (280 品目) のグリーン適合品	271 品目 (96.7%)	271 品目 (96.7%)	271 品目 (96.7%)	○

(3) 取組結果の評価

- エコマインドを持った学生、生徒の育成
 - ①森林自己学習活動参加者は、36 名に達し環境目標を達成
 - ②福島ふれあいの森活動参加者は、24 名に達し環境目標を達成
 - ③学生、生徒の環境サークル活動支援
NLS 部、ガーデニング同好会、高校整備部が活躍し環境目標を達成。
- 二酸化炭素排出量の削減
二酸化炭素排出量に係る環境目標を、基準年実績 1,151,021kg-CO₂ の 1.0%減の 1,139,510kg-CO₂ 以下とした。実績は、1,226,717kg-CO₂ で対前年比+ 6.5%の増加となり環境目標を達成できなかった。これは、コロナ禍の中換気を行いながら冷暖房を実施した結果、冷暖房負荷の増大に伴い、電気・ガス消費量が増加し、CO₂ 排出量も増加した。
- 水使用量の削減
水使用量に係る環境目標を、基準年実績 23,458m³の 1.0%減の 23,223m³以下とした。実績は、36,663m³で対前年比+ 56.2%の増加となり環境目標を達成できなかった。これは先の福島県沖地震により、83 年館給水管継手が損傷し漏れが発生したことによる。
- 紙使用量の削減
紙使用量に係る環境目標を、基準年実績 11,192kg の 1.0%減の 11,080 以下とした。実績は、11,115kg で対前年比－0.68%の減少となり環境目標を達成できた。これは文書の電子化等の推進の成果である。
- 一般廃棄物排出量の削減
一般廃棄物排出量に係る環境目標を、基準年実績 107,540kg の 1.0%減の 106,464kg 以下とした。実績は、108,520kg で対前年比、+0.95%の微増となり環境目標を達成できなかった。これは学内除草作業の内策化により除草廃棄物の微増が続いているからである。
- 化学物質の適正管理
化学物質に係る環境目標を、毒物・劇物、向精神薬、核原料物質、病原性微生物、PRTR 対象物質、危険物等化学物質の保管状況を各関係法に則り厳格に管理している。
実績は、化学物質取扱者と円滑なコミュニケーションを取りながら各関係法に則り厳格に管理する事ができ環境目標を達成できた。これは管財部及び環境委員会において関係教員の協力を得て厳格に法令遵守を行ったからである。
- グリーン調達の推進
グリーン調達に係る環境目標を、購買部取扱い消耗品類 280 品目中 271 品目 (96.7%) をグリーン購入適合品にすることとした。実績は、271 品目 (96.7%) がグリーン購入適合品となり、環境目標を達成した。これは管財部と購買部の有限会社佐藤和司商店が一致協力のもとグリーン購入を推進した事による。

(4) 代表者による評価と見直し

水野内部監査委員より、エコアクション 21 認証登録後 18 年を経過し、毎年各環境委員によりさまざまな環境保全活動を実施している点を学内にもっと周知する様指示。

V-2 トピック

62年館 LED化

照明の点灯時間が長い講義室や研究室のLED化を図り、電気使用量の削減を図った。次年度は、83年館を実施予定。



62年館高架水槽のタンクステンコート (7ヵ年計画の5年目)

FRP（繊維強化プラスチック）製の貯水槽をタンクステンコート（塗装）することにより、貯水槽の長寿命化を図った。次年度は家庭寮の受水槽を実施予定。



外部評価（表彰等）

- 令和3年度 温暖化防止にみんなで取り組む福島議定書 従来編「緩和分野賞」受賞



- 令和3年度 若い世代の放射線に関する知識普及の貢献により環境省から感謝状受賞



V-3 各部門の取り組み

郡山女子大学

2021 年生活科学科 SDGs への取り組み発表 —もみじ会—



【生活総合コース】テーマ：家庭科教育がつくる豊かな生活

生活の様々な場面において SDGs ということばを目にする機会が増えたが、SDGs では 2030 年までに達成すべき 17 の目標を掲げている。そこで、SDGs の目標の達成に向けた教育について考察し、解決策を提案した。



【福祉コース】テーマ：みんなが幸せに暮らせる地域をつくるために～すべての人に健康と福祉を for SDGs ～

多様な不安感や生活上の課題を抱えながら暮らしている人びとが多い現状にある。そこで、SDGs の取り組みを参考として、地域住民が共に支え合い、幸せに暮らすための一助となるよう提案した。



【建築デザインコース】テーマ：

Make the World happy ～ SDGs から考える私たちの未来～ 「住み続けられるまちづくり」

SDGs には、包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現するための目標が掲げられています。私たちの生活や地域に内在する課題に向き合い、安全で快適な生活と持続可能な地域社会の実現を目指した「住み続けられるまち」構想として住宅街を提案した。



● 猪苗代湖と鬼沼・裏磐梯湖沼地域の水質と生物調査

食物栄養学科 影山 志保

1. はじめに

福島県には猪苗代裏磐梯湖沼地域という美しい自然が残っており、私たちの命を守るためにも重要な資源である猪苗代湖・裏磐梯湖沼地域に関する調査を実施している。特に、特定外来生物として問題になっているウチダザリガニ（写真1）の分布調査と今年度から会津短期大学と合同でウチダザリガニの環境 DNA のサンプリングを実施した。

2. 材料と方法

サンプリングは2021年10月から11月にかけて計8回実施した。サンプリング地点は裏磐梯湖沼地域で5地点、長瀬川で1地点、猪苗代湖北側で5地点、猪苗代湖南側1地点の合計12地点である。サンプリング地点にカニ籠を設置し、4時間後にカニ籠を回収、捕獲できた生物を確認した。

写真1 ウチダザリガニ



3. 結果と考察

裏磐梯（図1）では、松原湖と小野川湖ではウチダザリガニを確認できなかったが、曾原湖や秋元湖ではウチダザリガニを確認することができた。また、裏磐梯地域では、猪苗代湖の主要河川である長瀬川でウチダザリガニが確認できた。猪苗代湖へのウチダザリガニの侵入については、長瀬川と酸川合流後の下流2地点で調査を行ったところ、ウチダザリガニは確認できなかった。猪苗代湖（図2）の南側である鬼沼ではウチダザリガニが確認できなかったが、猪苗代湖北側では菱沼川と猪苗代湖の合流地点でウチダザリガニを確認することができた。菱沼川に堰を作り用水路を通しているが、この用水路でウチダザリガニが確認できたことから、この菱沼ワンドがウチダザリガニの生息域であると考えられた。

● ウチダザリガニが捕獲できた地点 ○ ウチダザリガニが捕獲できなかった地点



図1 裏磐梯の地図

図2 猪苗代湖の地図

今後は猪苗代湖、流入河川およびワンドにおけるウチダザリガニの分布域と生息域の調査を行い、特に小さいザリガニの生息域を明らかにしたい。また、ウチダザリガニの駆除を考えていく上で、ウチダザリガニの捕食する生物とウチダザリガニを捕食する生物、増殖環境の解明などのbehaviorについて調べていきたい。

本調査は、令和3年度「湖美来基金水環境保全活動支援事業」により実施した。

郡山女子大学短期大学部

健康栄養学科 環境関連事項（2021年実施）について

健康栄養学科では、授業の中で無駄な資源を出さないよう実践的に学んでおり、学生自身が環境について身近に考えている。

①屋上菜園

毎年、農業体験の一環として6月頃～10月下旬頃にかけて屋上菜園を使用し、野菜等を育てている。収穫した野菜は調理実習で使用したり、学生食堂フェリーチェでサラダや野菜料理として提供されたりしており、学生達は活動の中で食べ物の循環を学んでいる。



* 学生達自身で畑を耕し、種蒔きをする様子



* 屋上菜園で採れた野菜

②廃棄量の記録

調理実習等の授業で廃棄量を記録し、食材を無駄なく使用し食品ロス削減に努めている。



③食用油 リサイクル缶の使用

調理実習等で使用し、余った食用油についてはリサイクル缶に集め業者をお願い回収している。



幼児教育学科 環境関連事項（2021年実施）について

幼児教育学科は、同好会やボランティア活動を通して環境活動を積極的に行っている。新型コロナウイルス感染症の影響で活動が縮小されてしまっている中、出来る範囲内で環境活動を行った。

①ガーデニング同好会

2020年度はコロナの影響により積極的な活動は出来なかったが、2021年度は写真のように学生達でペチュニア、あじさい等様々な花を植え、綺麗な花壇が出来た。同好会の学生が主に活動をしていたが、花が好きな学生は、率先して花に水をあげるなどする姿が見られ、自然とみんなで植物を大切に出来ていた。



② ゴミゼロキャンペーンへの参加

2021年度は新型コロナウイルス感染症のことを考慮した結果、参加をお断りしたが例年郡山市主催のゴミゼロキャンペーンに参加している。2019年度は、幼児教育学科の1・2年生68名が参加し、歌や体操、劇を通して子どもたちに楽しく3Rの大切さを伝え、会場を盛り上げた。



● 地域創生学科 環境関連事項（2021年実施）について

地域創生学科は、伝統文化の保存・普及や福島県をPRするプロジェクトに学生自身が積極的に携わり、地域に根差した活動を大切にしている。

① 伝統手漉和紙の保存・普及

毎年、9月中旬に行われる秋蛭に向けて地域創生学科の学生も実際に中田町に足を運び、海老根伝統手すき和紙の保存・普及に携わっている。



楮（和紙の原料）を植えている



収穫した楮の皮をむく



楮を基に和紙を作成している

② つなぐデザインプロジェクト

「つなぐデザインプロジェクト」では、環境省と連携して、デザインを通じた「福島環境再生、風評被害の払拭」に資する活動に取り組んでいる。



今年度、当時、地域創生学科2年生だった伊藤さんが作成したデザインのエコバックがCOP26ジャパンパビリオンにおいて、採用され使用された。



これらの、積極的な活動があったことから、「つなぐデザインプロジェクト」は「FUKUSHIMA NEXT」表彰制度で福島県知事賞を受賞。

■ 郡山女子大学附属幼稚園

● 園庭の自然の中、木々、草花などを利用した遊びを通して子どもたちはさまざまな発見をします。自然物のふしぎに気づくきっかけとなるようにかかわっています。また、廃材などの再利用も子どもたちの創造性を刺激している。



草花を使ったお料理作り、制作



木登り



銀杏の葉っぱ、どんぐりひろい、落ち葉のシャワー～自然は子どもたちの大切な遊び場～



- 野菜栽培（トマト・ピーマン・ナス・サツマイモ）、花の種まき、バケツで苗を育てる体験



- 空き箱・段ボールなどを使ったおもちゃ作り、もみじ会の子どもバザーのおもちゃにも雑材を使っている。



■ 郡山女子大学附属高等学校

- 環境活動について

- ① 花壇の整備、草むしり、落ち葉拾いなどを実施し、校舎内・外の環境整備を行った。



- ② 節水・節電…

ポスターによる啓発やLED照明の導入



- ③ リサイクル活動…

紙、空き缶、ペットボトルのリサイクル、エコキャップ活動



- ④ 食育活動…農業体験、減るしいレシピコンクールへの参加



■ 家庭寮

● 家庭寮の取り組み2021

下記項目について寮生・職員共に協力し取り組んでいる。



■ 寮生数

寮生内訳	1号館	2号館	合 計
大学生	13	9	22
短大生	15	12	27
高校生	—	32	32
計	28	53	81

節電・節水の呼びかけ

- ・ 掲示等による
- 必要時以外こまめに消す
- 水道を出したままにしない（1号館）



「エコキャップ収集運動」への参加

今年度で12年目となる
一年間で約14700個収集



ゴミの分別

- ・ 分別の呼びかけ
- 掲示等による
- ※ 分別出来ない
ゴミは提示し注意



古紙回収

回収ボックスを
設置し分類・回収



環境対策

- ・ 寮内美化（毎日の清掃・大掃除の実施）
- ・ 屋内消毒、排水溝の清掃（業者実施）
- ・ 玄関前プランター植栽



安全管理

- ・ 空間線量測定、食品検査の実施
- ・ 災害時対応備蓄（食品・飲料水）
- ・ 防火についてのプリント配布

コロナウイルス感染症対策

- ・ 食事時の食堂内入室制限
- ・ 入浴時の入浴者数の制限
- ・ 消毒液の配布・設置
- ・ 健康観察（体温測定）の実施



エコアンケートの実施

集計結果	1 位	2 位	3 位
「エコ」と聞いて 思いつくイメージは？	節 電 	省エネ 	エコバッグ
実際に行っているエコは？	エコバッグ 	ゴミの分別 	節 電・ エコキャップ
寮でもっと取り組みたい エコは？	節 電 	ゴミの分別 	エコ キャップ

■ 2021 年度 郡山女子大学 NLS（ナチュラルライフスタイル）部の環境保全活動等

● 生物多様性への貢献

福島県森林自己学習支援事業（福島県森林環境税活用事業）
昨年度に引き続き、3年目を実施した。

○活動テーマ

「こおりやま開成の杜復活プロジェクト」

○活動内容

- ①環境調査（放射線、動植物、昆虫、きのこ等）を実施し、生態系を明らかにする。
- ②林業体験（間伐体験、薬木の植樹）
- ③林道整備
- ④体験プログラムの検討



間伐体験



集合写真



鳥の巣箱の中身確認



薬木の植樹

環境調査では、野生のニホンザル、カモシカ、ツキノワグマ等が定点カメラで撮影できた。又、昨年度鳥の巣箱を十数カ所に設置したが、出入口が狭かったようで、利用した形跡がなかった。秋に穴を広げて再設置した。

林業体験では、16 年前に植樹した檜（学校林）の間伐を行った。熱海グリーン産業の協力のもと、貴重な体験ができた。間伐材を有効利用のため、林道整備やコースターに使用した。

● ドングリプロジェクト（プロジェクトD）



東日本大震災以降、津波で流失した森林面積を取り戻すため、日本環境協会が主体となり実施してきた活動で、2021 年度より、郡山女子大学が引継ぎ、福島ふれあいの森で活動を実施した。

NPO 法人小野自然倶楽部の協力のもと、学生、生徒、教職員が参加し、どんぐりの木の裾枝払いを実施。

昼食後、クリスマスリースを山の小物（マツボックリ・ドングリ・ツタ）で制作した。



集合写真



裾枝払い



裾枝払い



クリスマスリース作り

石筵 開成の杜の除伐、裾枝払い作業について



調査日：2021.4.18

開成の杜	植樹年月日	樹種	本数	年数
鞍手山	平成 8 年 5 月	ヒノキ	5,100 本	26 年
高土山	平成 13 年 6 月	スギ	4,300 本	21 年
石 筵	平成 15 年 5 月	ヒノキ	7,000 本	19 年
安子ヶ島	平成 20 年 5 月	ヒノキ	5,000 本	14 年

福島県森林自己学習支援事業（福島県森林環境税 活用事業）の一環として、石筵開成の杜の間伐を環境委員会及びナチュラルライフスタイル部のメンバーが実施した。



次年度は、石筵開成の杜の間伐作業を予定

ふくしまゼロカーボン DAY！出展

令和 3 年 11 月 27 日(土)ふくしまゼロカーボン DAY！へ出展し、森林自己学習支援事業で発生した間伐材を利用し、来場者へコースター作り体験を実施した。開場と同時に多くの来場者が郡山女子大学のブースを訪れていただき、郡山女子大学の森づくりを発信することができた。



V-4 緊急事態対応

身の安全確保訓練（福島県沖で大地震が発生し震度 5 強の大地震が 15 秒後に到着する）

緊急地震速報の校内アナウンスに従い、机等の下に隠れ、身の安全確保訓練を実施した。避難訓練は、新型コロナウイルス対策により、避難場所での密を避けるため実施を見送った。

初期消火訓練

家庭寮 職員、寮生、防災管理委員による初期消火訓練（消火栓、消火器）を実施した。



V-5 郡山女子大学・同短期大学部における地域連携活動



■ 本宮市との包括連携協定締結

平成28(2016)年11月3日に本宮市と人材育成や人材確保、幼児教育や文化、芸術、健康福祉の増進など5項目について包括連携協定を締結し、高齢者福祉、幼児教育分野を中心に継続的な活動を行っている。



いきいき交流事業



本宮市民元いきいき応援プラザ（えぼか）にて

■ 葛尾村との包括連携協定締結

平成28(2016)年12月6日に葛尾村と震災からの復興に関する包括連携協定を締結し、六次化商品の開発を継続的に進めるとともに、村内行事へ積極的に参加してきたが、令和2(2020)年度以降はコロナ禍で村内行事が制限される状況が続いており、活動を限定しながら実施している。



エゴマ定植作業



エゴマ刈り取り作業

■ 福島さくら農業協同組合との包括連携協定締結

平成28(2016)年度にJA福島さくらと農業の振興や教育及び人材育成に食文化の振興、健康、福祉の振興など5項目について包括連携協定を締結し、相互に緊密に連携し、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進している。令和3(2021)年度は米倉庫への壁画作成等の協力が行われている。



壁画制作風景



■ 小野町との包括連携協定締結

平成29(2017)年8月21日に小野町と子育て、人材育成、健康栄養及び福祉の増進など6項目について包括連携協定を締結し、子育ての分野にて継続して協力が行われている。



おのまちわかばたんけんたいの素敵な冒険 活動風景



住民ワークショップ

■ 古殿町との包括連携協定締結

平成30(2018)年8月27日に古殿町と地域創成、健康栄養・福祉の増進、子育て環境の向上、地域産業の振興、芸能・文化の向上、人材育成・確保の6項目について包括連携協定を締結した。農産物の六次化商品開発が進められている。



古殿町産ミニトマトの6次化商品開発



■ 郡山市との事業連携

平成21年3月13日に本学は、郡山市こども総合支援センター「ニコニコこども館」実施事業の連携協定を締結し、学生が「ニコニコこども館まつり」、ハンドベル演奏等のボランティア活動が行われてきたが、令和2(2020)年度以降はコロナ禍で催事が制限される状況が続いている。



ニコニコこども館まつり



■ 福島民報社との事業提携

平成29(2017)年2月に福島民報社と連携協力協定を締結し、新聞等を活用したキャリア教育の支援、地域課題等に関する共同調査及び研究、人材交流及びインターンシップの実施、教育研究のための新聞記事情報の活用支援等の分野において連携協力を進めている。

■ 鏡石町との連携

令和2(2020)年2月12日に鏡石町と食と健康の分野に関する連携協定を締結した。

令和2(2020)年度からは、町内の高齢者を対象とした食事と栄養に関する調査が実施され、令和3(2021)年度からは調査をもとに健康教室が開催されている。



町民健康調査



■ 大学施設の開放

東日本大震災以降、市内の公共施設が避難所等として使用できないことを受け、地域貢献の観点から、本学施設を学園休業日に外部団体の大会・イベント・検定試験会場等として幅広く大学施設の貸し出しを行っている。令和3(2021)年度もコロナ禍の状況が続いたが、2月に発生した福島県沖地震により郡山市内の公共施設の多くが被災したことで、貸出依頼が多くあった。

〈過去3年間の利用者数〉

	2019年	2020年	2021年
利用者数	20,357人	8,077人	15,560人



たなばたコンサート

■ 生涯学習講座

本学では、「学ぶことは生涯の仕業」の理念のもと、地域女性を対象として科目の開放を短期大学と共同で実施している。この生涯学習講座としての科目開放は、令和元(2019)年度で35年目となる。令和2(2020)年度以降は、新型コロナウイルス感染防止の観点から講座の開催を見送っている。

■ 国際交流特別講座

本学では21世紀の国際化に対応するため、英語・中国語・日本語、それぞれのことばを楽しく学ぶことを通して、ことばと文化への理解を深め、コミュニケーション能力を高め、あわせて本学園の国際性の発展を図ることを目的として、平成14(2002)年度前期より「国際交流特別講座」を開講している。令和2(2020)年度以降は、新型コロナウイルス感染防止の観点から講座の開催を見送っている。

■ KGCサマーリフレッシュプログラム（教員免許状更新講習）

平成19(2007)年6月の改正教育職員免許法の成立により、平成21(2009)年度より教員免許状更新講習制度が開始された。本学では21(2009)年度より、KGCサマーリフレッシュプログラム（教員免許状更新講習）を開講している。毎年バラエティに富んだ幅広いプログラムと熱心な本学教員の講義は、免許更新を迎えた教員の多くから、単に知識の再確認に留まらず、改めて学ぶ喜びを体得したと好評を得ている。

令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から講座の開催を見送ったが、令和3(2021)年度は実施された。

■ 地域連携推進室の設置

平成28(2016)年度に、「産学官との連携強化」、「地域活性化」、「施設の一般開放」を推進する窓口として「地域連携推進室」を法人事務局 管財部内に設置して、地域への人的資源の提供や、教育成果を還元するための橋渡しを行っている。

■ 公開講座

令和3(2021)年度もコロナ禍のなかで、新型コロナウイルス感染防止の一環としてオンライン中継を併用し、食物栄養学科主催の市民フォーラムが開催された。



市民フォーラム

■ 産学連携・受託事業

令和3(2021)年度の本大学・短大が関係した産学連携・受託事業は、①和紅茶・日本茶商品開発による商品評価等（スリーピースシステムズ(株)）②チャレンジふくしま県民運動における企業社員食堂のヘルシーメニューの開発 ③水未来基金水環境保全活動支援事業における裏磐梯湖沼地域の水環境と生物調査 ④えごまを利用したジェラートの開発等（㈱くだもの畑）⑤檜葉町産甘藷を活用した加工品（健康食）の開発及びレシピ作成に関する研究。



和紅茶・日本茶商品開発



えごまを利用したジェラートの開発

Ⅵ. 次年度の取り組み

- (1) エコマインドを持った学生生徒の育成（生物多様性への貢献）
- (2) 地域貢献（環境に関するボランティア活動への参加・学園施設の開放等）
- (3) 環境負荷の低減（主要校舎等のLED化）

Ⅶ. 環境関連法規等一覧及びその遵守状況確認結果

環境関連法規等の遵守状況の確認結果及び違反、訴訟等の有無

環境関係法規類			遵守評価 令和 3 年 5 月		評価
			監視及び測定	担当	○×
1	毒物及び劇物取締法		特定薬品関係管理状態	環境委員会	○
2	労働安全衛生法		産業医・安全・衛生管理者等	総務部	○
3	消防法		危険物管理・消防用設備	管財部	○
4	廃棄物処理法		一般廃棄物分別及び特別管理廃棄物の処理状態 など、増改築工事時の産業廃棄物処理	管財部	○
5	資源有効利用促進法		パソコン・二次電池等	管財部	○
6	家電リサイクル法		廃棄時確実な引渡し	管財部	○
7	自動車リサイクル法		廃棄時確実な引渡し	管財部	○
8	建設リサイクル法		新築・増築・解体工事発生時 元請け業者との契約事項	管財部	○
9	PCB 処理特措法		郡山市届出・年 1 回確認	管財部	○
10	フロン排出抑制法		フロン回収手続の処理	管財部	○
11	大気汚染防止法、福島県生活環境の保全等に関する条例		講堂冷却水発生機運転時のばい煙量	管財部	○
12	水質汚濁防止法		構造等に関する基準遵守・薬品類定期点検	管財部	○
13	下水道法		定期的な保守点検・清掃	管財部	○
14	水道法		年 1 回貯水槽清掃・点検	管財部	○
15	グリーン購入促進法		毎年 3 月頃確認	管財部	○
16	環境配慮契約法		毎年 3 月頃確認	管財部	○
17	環境保全活動・環境教育推進法		持続可能な社会・意欲の増進	管財部	○
18	食品衛生法		営業許可証の確認	管財部	○
19	省エネ法	エネルギー合理化・自主的	エコアクション 21：環境目標・環境活動計画進捗	環境委員会	○
		トップランナー方式	機器の買替時	管財部	○
20	環境基本法・循環型社会形成推進基本法・温対法・文部科学省からの通達		国の施策に協力、温室効果ガスの排出抑制	管財部	○
21	小型家電リサイクル法		使用済小型電子機器等の排出状況を確認	管財部	○
22	麻薬及び向精神薬取締法		向精神薬の登録内容、保管管理確認	管財部	○
23	核原料物質、原子炉の規制に関する法律		核燃料物質（2 種類）の保管、管理確認	管財部	○
24	PRTR 法		第 1 種、第 2 種、特定化学物質の保管管理確認	管財部	○
25	放射性物質による環境汚染への対処に関する法律		事故由来放射性物質による汚染された廃棄物の保管確認	管財部	○
26	道路交通法		安全運転管理状況確認	総務部	○

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は昭和24年の設立以来ありません。

Ⅷ. 環境活動結果に関する内部監査及び評価

(1) 内部監査

1. 監査対象	学校法人 郡山開成学園における環境活動	
2. 監査実施日	令和3年12月10日(金) 15:00～17:10	
3. 監査担当者	内部監査委員／紺野 信弘、水野 時子、学生代表 田中部長 (NLS 部)	
4. 監査目的	EA21 中間審査前 内部監査	
5. 監査項目	1. 前回の中間審査時の推奨事項7項目の是正措置の改善状況確認 2. 内部監査チェックリスト（環境経営システム・環境活動レポート）により確認 3. 事務局より2021年環境活動計画書の各目標の達成状況と主たる環境活動の報告 4. 大学、短大、高校、幼稚園、及び家庭寮の各環境委員より各部門における2021年の環境活動についてプレゼンテーション 5. 質疑応答、講評	
6. 監査講評	監査委員氏名	講評結果
	紺野監査委員長	NLS部の「開成の杜復活プロジェクト」は、NLS部と環境委員会のコラボ事業として素晴らしい取組である。今後は、自然観察や体験学習施設として開成の杜を有効活用してほしい。〈理事会出席のため退席〉
	水野監査委員	各部門とも素晴らしい環境活動を行っている。大学 生活科学科では、もみじ会に発表したSDGsを考えた各種取組が環境方針に謳っているエコマインドを持った学生の育成に繋がっている。短大は、教育においてそれぞれの学科の特性を生かして環境活動を行っている点が良かった。コロナ禍の中大変だがガーデニング同好会が83年館玄関前の花壇の手入れをして下さい。附属高校の7つの活動はそれぞれ生徒が中心となり積極的に活動している点が良かった。幼稚園では日常生活の中で学ぶことを大切にしており、コロナ禍の中ハンドタオル使用を保護者の理解を得て実施した点が良かった。事務局においては教職員の環境意識が向上するよう働きかけを続けて下さい。NLS部の開成の杜復活プロジェクトの発表では、放射線量の報告において、杜全体では安全レベルに達していることをデータで報告してほしい。最後に影山副委員長の特定外来種であるウチダザリガニの猪苗代湖への流入調査結果は、研究内容が素晴らしかった。例年各部門の環境活動がSDGsを意識した活動となっており、益々発展、充実する事を期待する。
	田中委員 (学生代表)	各学校における多くの環境プロジェクトにおいて、継続が大事であることがよく理解できた。SDGsを中心に今後も活動を行いたい。新型コロナウイルス感染症の関係からNLS部にも多くの影響が出ており、今後の活動において人員不足とならないようにしていきたい。
備 考	 	

(2) 代表者による全体の取り組み状況及び見直しの結果

県内の自治体や地元企業と連携した特産品の開発や発信、子育て家庭への支援などさまざまな場面で学生の挑戦が結実し、工夫が生かされている。学生には、尊敬・責任・自由という建学の精神を体現し、自立した社会人として成長して欲しい。そのためにも教育の質の向上に最優先で取り組み、地域社会に貢献できる人材育成の土台をより強固なものにしたい。

本学は令和3年度、温暖化防止にみんなで取り組む福島議定書事業において、地球温暖化を緩和するため二酸化炭素の排出量削減につながる省資源・省エネルギーの取り組み及び地域貢献活動が評価され2年連続で「緩和分野賞」を、又、原発事故以来継続して来た環境放射線量と放射線の健康影響調査が、若い世代に対して放射線に関する知識の普及に貢献したとして、環境省より感謝状を受賞した。これらは、各環境委員がそれぞれの部署において、リーダーシップを発揮し、学生・生徒及び教職員の環境活動をサポートし実践した賜ものである。

今後とも地球温暖化防止につながる、環境負荷削減の努力は継続しSDGs活動の実践について、学園関係者の意思統一を図り、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを深化発展させていくこととする。

令和4年7月29日

学校法人 郡山開成学園 理事長

関口 修

(3) 令和3年度（2021年）受託事業などの一覧

委託者（自治体など）	件 名	受託者（担当学科・教員）	金 額
チャレンジふくしま県民運動推進協議会 会長 内堀雅雄	チャレンジふくしま県民運動 委託料	郡山女子大学 (星 千歳)	165,158
古殿町	包括連携に関する協定に基づく業務委託 古殿町産農作物（ミニトマト）を使用したメニュー考案等	郡山女子大学 (菊池 節子)	992,200
公益財団法人 福島県学術教育振興財団	令和3年度公益財団法人福島県学術教育振興財団助成金「葛尾村三匹獅子舞に関わる民俗芸能誌作成のための調査研究」	郡山女子大学短期大学部 (一柳 智子)	430,000
スリーピーシステムズ 代表取締役 吉田和彦	委託研究「和紅茶・日本茶商品開発による栄養成分分析商品評価」	郡山女子大学 (郡司 尚子)	200,000
猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会 会長 大島幸一	猪苗代湖と鬼沼・裏磐梯湖沼地域の水質と生物調査	郡山女子大学ナチュラライフスタイル部 (影山 志保)	81,797
福島県知事 森林計画課	森林自己学習支援事業 「こおりやま開成の杜 復活プロジェクト（3年目）」	郡山女子大学ナチュラライフスタイル部 代表（田中 有里）	290,366
福島県知事 環境共生課	福島県事業者向け省エネ対策推進事業 「62年館各室天井照明LED化（4年目）」	郡山開成学園環境委員会 委員長（緑川 洋一）	880,000
旬くだもの畑	えごま油搾りかすの利用の研究	郡山女子大学 (郡司 尚子)	100,000
(株)建設技術研究所	甘藷を活用した加工品の開発	郡山女子大学 (郡司 尚子)	682,000

合 計（9件）

3,821,521



地球は、わたしたち現世代の人間だけのものではなく、
わたしたちの子どもや孫の世代を含む未来のすべての世代
の生存に対して責任があるということを認識しましょう。

(世代間公平の考え方より)

